

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	高槻市新文化施設新築工事	階数	地上3F、地下2階
建設地	高槻市野見町	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	2,000 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2018年10月1日
敷地面積	19,076 m ²	作成者	日建設計
建築面積	5,442 m ²	確認日	2018年11月1日
延床面積	17,261 m ²	確認者	日建設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁は公園の木立に溶け込むようにイメージした木材(ルーバー)を張り巡らせるなど、周辺環境に配慮したデザインとしている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	ホールという特性に合わせて、音環境、空調換気環境、光環境等に配慮した計画。 換気量はビル管法に合致した十分な換気量を確保。(35m ³ /h/人以上)	Q3 室外環境(敷地内) 歴史的遺構を保存する計画とした。 公園計画ではパブリックスペースを多数散りばめ人々の居場所を多く作る計画とした。 建物内から公園がよく見えるような建築計画とし、建築
LR1 エネルギー	LED照明の全般的な採用や、高効率で負荷変動に対応可能なモジュール型熱源の採用など省エネに配慮した設備計画を実施。 設備性能を監視できるようにBEMS(エネルギー監視装置)も設置。	LR3 敷地外環境 雨水排水負荷低減として、敷地内で雨水抑制を計画。 交通負荷抑制とし駐輪場、駐車場を整備。 光害の抑制として屋外器具は配光の向きに配慮し、グレアの低い器具を採用。
Q2 サービス性能	地元産材の杉をつかい敷地の公園の木々に溶け込む内外装とした。 建築基準法の25%増の耐震性を要し、設備機器類についても耐震クラスA相当の固定を行い、信頼性の向上に努めて	LR2 資源・マテリアル 持続可能な森林から算出された木材として地元産材の杉を使用。 雨水の雑用水利用のほか、超節水型大便器(大4.8L/回)、擬音装置、自動水栓の採用により、積極的な節水を計画。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H30-0120

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	高槻市新文化施設新築工事					
	建設地	高槻市野見町					
	用途/区分	集会所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

報告しない

【評価項目】

項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.4	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	2.5	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	5.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		